

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



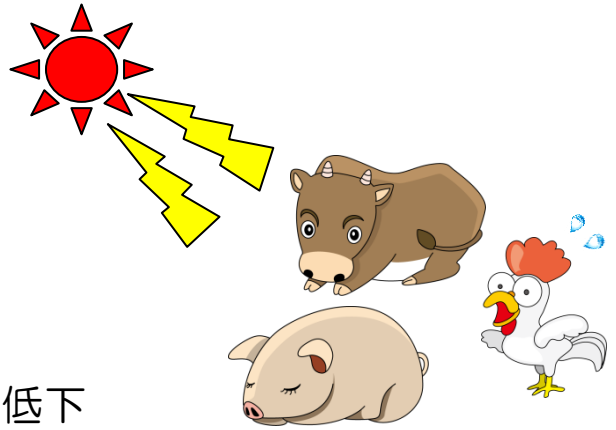
暑熱対策を行い、秋に備えましょう！！

気象庁の3か月予報では、今年の九州の7～9月の気温は**平年よりも高くなる**と予想されています。

牛や豚、鶏は暑さに弱い家畜ですので、秋以降の生産性の向上は夏をどう乗り切るかにかかっています！暑熱対策をしっかりと行って秋を迎えましょう。

〈暑熱ストレスによる影響〉

- ①飼料の摂取量の減少
→増体率や泌乳量、
鶏での産卵率の低下
- ②繁殖機能の低下
→雄では造精機能の低下、
雌では発情微弱・無発情・受胎率の低下
- ③細菌やウイルス感染への抵抗性（免疫力）が低下
→病気にかかりやすくなる
- ④熱中症による死亡

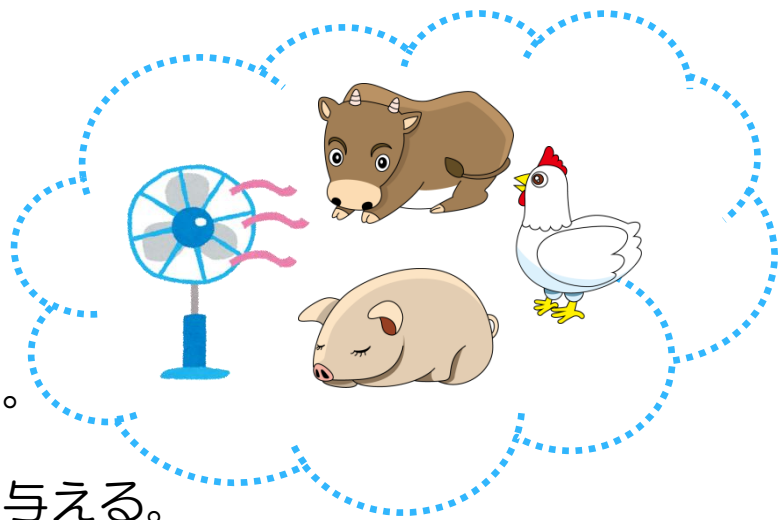


〈暑熱対策 その1〉

- ①畜舎内に入る熱（輻射熱）の抑制
屋根に石灰散布や白色ペイント、または断熱材を設置する。
パドックや畜舎に遮光ネットなどの日除けを設置する。
屋根や畜舎周囲に散水する。
- ②畜体からの放熱の促進
散水や細霧装置で畜体に水をかける。
畜舎内の風の通りを考慮して送風器具を設置する。
（畜舎内に溜まった熱を舎外に排出するように）
送風器具の清掃（風力が50%アップ）

※冷却効果は(1)水(2)風の順で効果がありますが、散水しすぎて湿度が高くなると実際に家畜が感じる温度(体感温度)が上昇し、暑熱ストレスを受けやすくなるので散水・細霧と送風を使い分けることが大事です。

<暑熱対策 その2>



③発生する熱の抑制

密飼いをさける。
熱源となる家畜の糞の除去。

④一般的な飼養管理

新鮮な飼料を数回に分けて与える。
(餌を食べると熱が発生するので早朝や夜間に)
重曹(呼吸性アルカローシスの対処)やビタミン・ミネラル
を与える。

冷たく新鮮な水を与える。

家畜を興奮させるような作業(ワクチン接種、鶏舎内の見回り等)は早朝、夜間に行う。

家畜の行動をこまめに観察しましょう。

→残飼が多い、口を開けて速い呼吸をしていたら・・・



異常がみられたら応急処置として水をかけて体を冷やし、すぐに獣医師へ連絡してください。

早期の発見と治療を行い、生産性の低下を防ぎましょう!

近隣諸国における悪性家畜伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	韓国	2月13日	牛	O型
	中国	5月15日	牛	O型
高病原性 鳥インフルエンザ	台湾	1月9日~6月15日	家禽	H5N2
	中国	3月19日~6月16日	家禽	H7H9
	韓国	6月3日~6月21日	家禽	H5N8
	インドネシア	継続発生中		H5N1

平成29年6月22日時点

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ!

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

